

父親であること楽しんで
家庭も地域も元気にしたい

工藤正隆 さか

くどう・まさたか 32歳 宮前
会社員



子育ては夫婦ですもの。「父親であることを楽しもう、よい父親ではなく笑ってる父親になろう」と絵本ライブチーム「On Sunday(s)」を結成しました。父親の頑張りは妻への心遣い、ちょっとしたもてなし。家庭はもっと明るくなると思います。それが地域の幸せにつながればと思います。



お客さまとの関わりを大切に
一言の声掛けで親身な接客

渡辺育恵 さき

わたなべ・いくえ 32歳 萩荘
セブンイレブン一関山目店店長



朝は出勤や通学前に利用する人が多いので「行ってらっしゃい」と笑顔で送り出しています。従業員の勤務前の声出し練習は店内に漏れることもしばしば。明るいあいさつや親身になった声掛けなどお客さまとのコミュニケーションを大切にしています。楽しみながら接客する姿勢が広がっています。



気持ちのいいあいさつは
僕らにできる最高のおもてなし

小岩祐太 たか

こいわ・ゆうた
赤荻小学校児童会長 6年



あいさつは学校を明るくします。学校が明るくなると地域の人々も笑顔になります。学校と地域が笑顔でいっぱいになれば、骨寺村や平泉に行くために遠くからここに来る人たちもうれしい気持ちになって喜ぶと思います。だから、みんなでみんなにあいさつします。あいさつで世界を幸せにしたいです。



ゆっくりと花を眺めて楽しみ、
癒される、そんな空間を演出

永澤喜久子 さき

ながさわ・きくこ 77歳 主婦
千厩町千厩



庭に花壇をつくり始めて18年になります。ゆっくりとお茶を飲みながら観賞できるようにお休み所を設置しています。見に来てくれた人と談笑しながら過ごす時間は楽しいですね。苗植えの時期をずらすなど長く楽しめるように手入れは欠かせません。私自身、きれいに咲く花に癒され、楽しんでます。



きれいな景観を見せることが
私たちなりのおもてなし

佐藤勲 さか

さとう・かおる 68歳 農業
巖美町字駒形



曲がりくねった水路は、本寺地区を象徴する景観です。建設業協会、水道工事組合と地元の人が協力して行う整備作業は、排水をよくするためだけではなく、景観を守るためでもあります。荒れたままでは訪れる人に失礼です。心を込めて手を入れた景観を見せることが本寺流のおもてなしです。



一関の魅力を発掘・発信
おもてなしで交流を推進

昆野洋子 さき

こんの・ようこ 70歳 自営業
千厩町千厩



形に見えないおもてなしもあります。それは人の心に響き記憶に残るもの。できることはたくさんあります。やる気のある人もたくさんいます。気持ちを引き出して、地域の魅力をもっと発信していきましょう。私たちにできるおもてなしで、農村と都市の交流の輪を、もっと広げていきたいです。



何気ない普段の活動がおもてなし。あんなことも、こんなことも。市民に聞きました

望むことを先回りして行うこと。つまり、「人の心を読む」行動です。

こうしてみると、民区、自治会や商店街の活動は、立派なおもてなしです。沿道に花を植えたり、地域を清掃したりすることは、私たちの生活環境をよくするだけでなく、訪れる人を迎える快適な環境づくりにもつながっています。このように、おもてなしは、特別なことではありません。日常、行われていることなのです。

行くとき幸せになれる店があります。料理や酒のおいしさもありますが、一番は心のこもったサービスです。目配り、気配り、心配りによって、「居心地の良さ」というメニューには載っていない幸福感を得られるのです。

まちや地域にとって大事なことも同じ。心のこもった「おもてなし」ができるかどうかです。そこで過ごす時間の満足度が高ければ高いほど、また行きたくないからです。

何でも手に入るのご時世だからこそ、温かい触れ合いに価値が生まれます。行ってよし、住んでよしを体感できるまちの指標は、ずばり「人」。

モノとコト、表裏一体である二つのおもてなしが幸福感を増進させるのです。

Hospitality of Ichinoseki
3

もてなしのカタチ

裏表のない
モノとコト

相手が喜ぶことを幸せに思える。
ここにも、あそこにも、一関のおもてなし。